# 横浜市のウクライナ避難民への支援

横浜市国際局

1 横浜市の多文化共生施策

2 横浜市とウクライナとの絆

3 現地支援と避難民支援

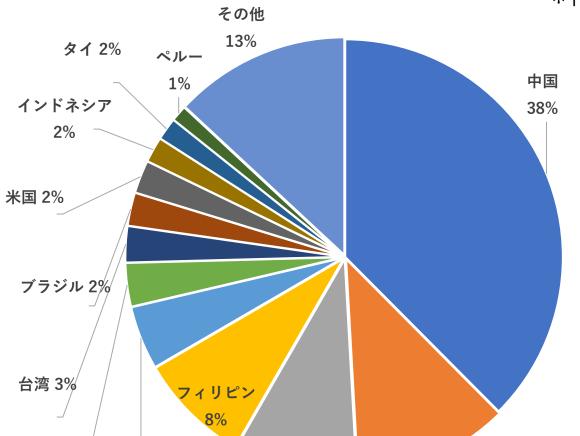
インド 3%

ネパール

# 106,641人・ 167か国・地域 (市総人口377万人の約2.8%)

韓国

12%



ベトナム

9%

\* R4年12月末現在 (出典) 横浜市統計ポータル

1位	中国	40,042人
2位	韓国	12,330人
3位	ベトナム	9,818人
4位	フィリピン	8,853人
5位	ネパール	5,039人
6位	インド	3,451人
7位	台湾	2,867人
8位	ブラジル	2,623人
9位	米国	2,605人
10位	インドネシブ	7 2,016人

1位	永住者	38%
2位	技術・人文・国際	12%
3位	家族滞在	11%
4位	特別永住者	7%
5位	定住者	5%
その他		27%

#### 横浜市多文化共生の根拠規定等

## 1 条例·指針·基本計画

- 横浜市国際平和の推進に関する条例:国際交流、国際協力、多文化共生等を通じた 国際平和への貢献と必要な財政措置
- 横浜市国際戦略:重点的な取組の柱「多文化共生の推進」
- 横浜市多文化共生まちづくり指針:基本目標「多文化共生による創造的社会の実現」
  - ※各部門の計画・指針等において多文化共生の視点を取り入れ (横浜市人権施策基本指針、横浜市子どもの貧困対策に関する計画)
- 横浜市中期計画2022-2025:「多文化共生の推進」を政策課題に位置付け

#### 2 組織機構

- 政令市で初となる「国際局」を設置(2015)
- 市の多文化共生を統括する専任ポストを設置(国際局)
- 市の各部局及び外国人集住区に「多文化共生担当課長(兼務)」を設置

# 政策11:多文化共生の推進

目標・指標	概  要
政策目標	・行政サービス、教育、医療等への確実なアクセス ・多様性と包摂性に富んだまちづくり ⇒⇒→『 <b>選ばれる国際都市・横浜</b> 』 ・外国人材が活躍しやすい環境整備
政策指標	現在の生活に満足している外国人の割合 <b>直近の現状値 64.1%(令和元年度) ⇒ 目標値 70%</b>

主な施策	概  要
施策1	在住外国人に対する情報提供・相談対応・日本語学習の充実 ・横浜市多文化共生総合相談センター、よこはま日本語学習支援センター ・サービスのICT化、SNS活用環境の整備
施策 2	日本語指導が必要な児童生徒へのきめ細かな支援 ・日本語支援拠点「ひまわり」、公立小中高の国際教室
施策 3	<ul><li>多様性と包摂性による多文化共生の基盤づくり</li><li>・NPO、市民団体など多文化共生の担い手を支援</li><li>・地域課題解決のアプローチを支援</li><li>・差別の解消と交流、多文化理解の促進</li></ul>

## 課題解決

#### コミュニケーション支援

- ▶ 行政・生活情報の多言語化、相談体制、日本語教育、生活オリエンテーション
  - 多文化共生総合相談センター
  - 日本語学習支援センター
  - 通訳・翻訳ICT化
  - 生活ガイダンス事業 ほか

#### 生活支援

- ▶ 教育、労働環境、災害時支援、 医療・保健、子ども・子育て、 福祉、住宅、感染症
  - 国際教室、ひまわり
  - 医療通訳、医療機関情報
  - 居住支援
  - 介護人材 ほか



多様性・包摂性に富み、 誰もが活躍できる共生社会

### 活躍促進

#### 意識啓発と社会参画支援

- ▶ 多文化理解、差別解消、 共生・交流の場づくり
  - 人権施策基本指針
  - 国際交流ラウンジ
  - 外国人の活躍促進
  - Rainbowスペース ほか

# 地域活性化の推進やグローバル化への対応

- ▶ 国際都市横浜の魅力向上
  - 国際交流ラウンジ(再掲)
  - 外国人の活躍促進(再掲)
  - 地域活動支援補助
  - 留学生の就職促進
  - 多文化共生セミナー ほか

横浜の持続的な成長・発展

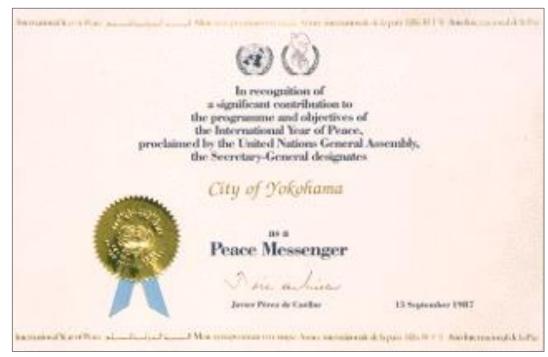
1 横浜市の多文化共生施策

2 横浜市とウクライナとの絆

3 現地支援と避難民支援

#### 国際平和に貢献する都市として

- 1987年 国際連合から ピースメッセンジャー都市 の称号を授与
- 2018年 横浜市国際平和の推進に関する条例 の制定

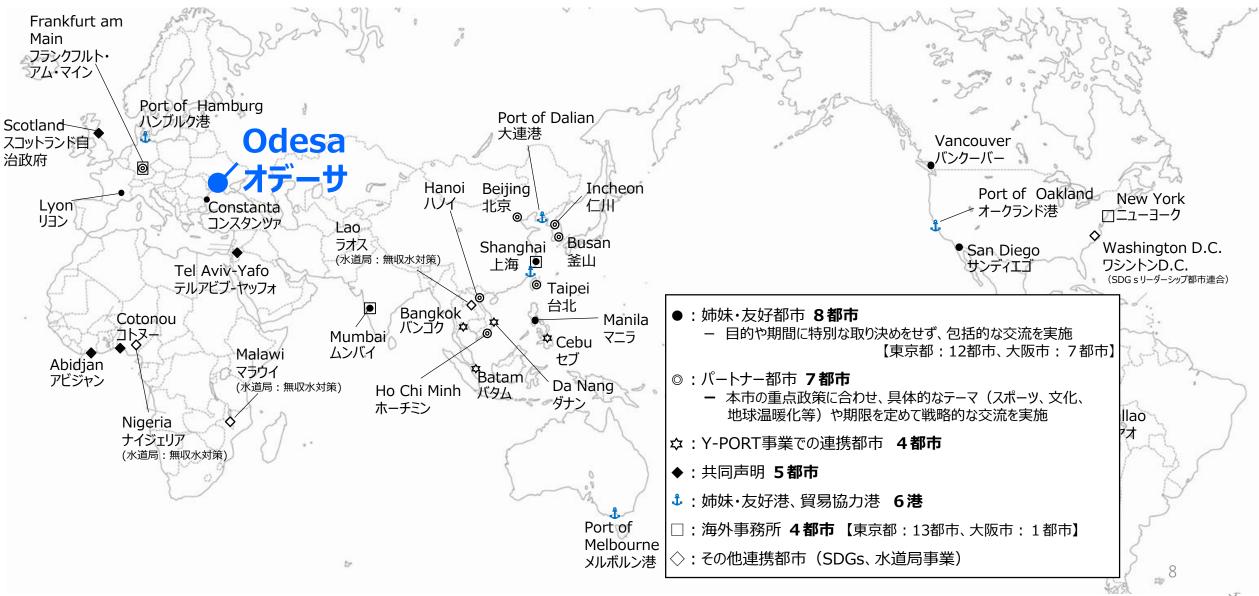


ピースメッセンジャー都市としての認定証



本市の平和の取組を紹介する動画・リーフレット

#### 姉妹都市・オデーサ市



#### オデーサ市との姉妹都市交流

- 共に戦火による焦土から復興した国際港湾都市 である所縁で1965年に姉妹都市提携
- **文化・スポーツ交流** や 市民団体訪問等の交流



- 東日本大震災に際して、オデーサ市民・オデーサ第60学校から義援金横浜市を通じて被災地に寄付
- 令和 3 年秋(ロシアによる侵略の開始以前)から、**廃棄物や上下水道分野で**

# 技術協力に向けて協議を開始



**オデーサ港** 旅客船ターミナル



**黄浜港** 大さん橋客船ターミナル

## 侵攻翌日、市長コメント発出

横浜市は、このたびのロシアによるウクライナ侵攻に強 く抗議します。

姉妹都市であるオデッサ市が攻撃を受けているとの情報 もあり、オデッサ市民の皆様の安否を案じております。

今回の暴挙は、欧州にとどまらず、国際社会の平和と秩序を脅かすものです。横浜市は、国連に認定されたピースメッセンジャー都市として、世界の恒久平和に向け、即時の攻撃停止と部隊の撤収、国際法を順守した誠意ある対応を強く求めます。

令和4年2月25日

横浜市長 山中 竹春

# ウクライナ国旗に市庁舎ライトアップ(3/2)



#### ウクライナ支援のためのパートナーシップ

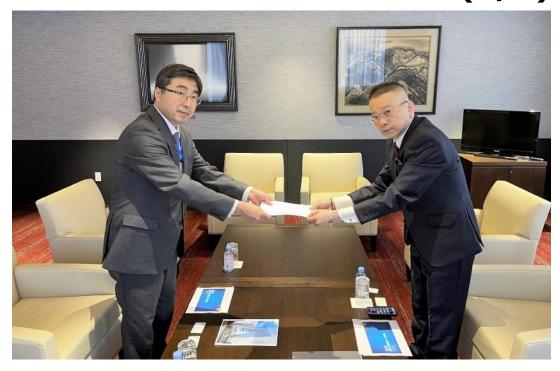
# ウクライナ大使館への表敬(3/16)



ウクライナ国民へのお見舞いと、ウクライナ赤十字社へ本市から2,000万円を拠出すること、市庁舎等の募金に多くの市民の皆様からの寄付をいただいている状況等を伝え、

大使館と連携して支援 することを確認

# 国連日本代表部に市会決議手交 (4/4)



横浜市会の 武力行使を世界のいかなる場所でも 二度と繰り返してはならないとする想いを全国連 加盟国に届けるため、米国・ニューヨークで国連日本政府 代表部の石兼特命全権大使に面会し、市会決議を手交

#### 募金箱・献花台の設置

## 市庁舎と全区役所での募金総額

- 現地の支援 (3/10~4/11) 23,868,146円
- 避難民支援 (4/12~6/10) **14,868,912**円



犠牲になったウクライナ市民への哀悼と平和への祈り



山中市長、清水議長、髙橋副議長が献花

1 横浜市の多文化共生施策

2 横浜市とウクライナとの絆

3 現地支援と避難民支援

現地支援:短中期的な支援

横浜市、オデーサ市、JICAが連携した緊急・復旧・復興支援

連携 オデーサ市 横浜市 情報共有 情報共有 支援ニーズ ウクライナ政府機関 JICA エネルギー省 ・地域発展省等 緊急・復旧・復興支援 (機材の供与等)

オデーサ市を含む5都市への発電機や浄水装置等の支援

廃棄物・がれきの処理や上水 道の拡張等でオデーサ市から 横浜市の協力への期待が寄せ られている







現地への緊急支援:第一弾

# 水道施設の機能が停止する恐れがあり 移動式浄水装置33台をお届け

オデーサ市から移動式浄水装置の支援要請 ➡ 移動式浄水装置の全国調査を実施し、民間企業からの寄付11台を含む33台を確保



オデーサ市長との 2 回のオンライン会談 (3/4、5/13)



水道施設が停止しているミコライウ市へ オデーサ市が5台を貸与

#### 現地への緊急支援:第二弾

# 電力インフラや熱供給インフラが多大な影響を受ける中防寒対策物資をお届け







オデーサ市へ防寒服等の支援を発表(11/15)



成田空港周辺の倉庫へ支援物資搬入(11/28)



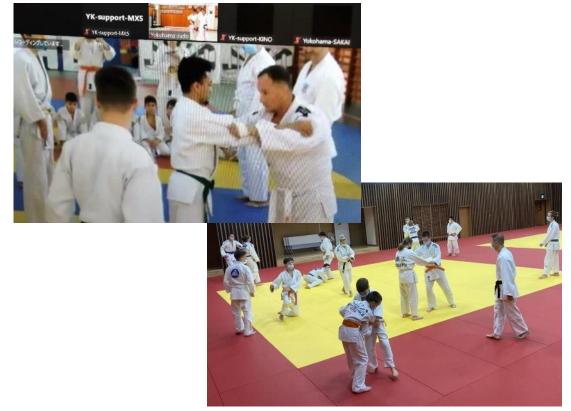
オデーサ市長と支援した防寒服を着用したオデーサ市職員(12/13)

#### オデーサ柔道クラブの一時避難受入

# オデーサ市の要請でかねてから交流のある 柔道クラブの子どもたち総勢14人を受入

協力:横浜YMCA様、横浜市柔道協会様、JICA横浜センター様、日本財団様等

昨年のオンライン柔道交流



来日後の柔道練習の様子



(7/18)



#### 一時滞在施設提供

- ✓ 来浜直後2~3週間程度
- ✓ 一時滞在用の施設(食事付)



## 生活スタート支援

- ✓ 在留資格変更・区役所窓口手続
- ✓ 銀行口座開設、SIMカード取得
- ✓ スマートフォンを1年間無償貸与



#### 医療サービス

- ✓ 医療ニーズの把握
- ✓ 必要な医療サービスへの繋ぎ



#### 生活に係る費用

- ✓ 日本財団様の御支援を御案内
- 生活費 一人100万円/年 (分割支給、1家族300万円/年を上限)
- 住環境整備費 一戸一律50万円





#### 住居・家具・家電

- ✓ 市営住宅を1年間無償提供 (家具・家電等整備)
- ✓ 民間の賃貸住宅等をご案内



#### 日常生活の支援

- ✓ 生活用品や食品の提供
- ✓ 就労を希望する方への支援
- ✓ 弁護士による法律相談



#### 就学・日本語支援

- ✓ 小中学校への就学支援
- ✓ 無償を基本とした就学援助
- ✓ 日本語指導等による学習支援
- ✓ 日本語教室・通訳翻訳機の提供



#### ウクライナ交流 カフェ

- ✓ ウクライナ避難民等の交流拠点
- ✓ 企業等の皆様による支援を繋ぐ

協力(五十音順、敬称略)

APAMAN(株)、神奈川県行政書士会、神奈川県弁護士会、 JICA横浜、Japan Immigration Lawyers Association (JILA) ウクライナ避難民支援チーム、 日本財団、 (株) ジマ、ハローワーク横浜、松浦企業(株)、 (公財)横浜国際交流協会(YOKE)、横浜桜木町ワシントンホテル、横浜商工会議所、(公財)横浜YMCA、(株)レオパレス21、その他 市民・市内企業等の皆様等

#### ウクライナ避難民支援相談窓口の設置

# 市内12カ所、避難民の受入に関する相談受付

@横浜市多文化共生総合相談センター・横浜市国際交流ラウンジウクライナ人スタッフの窓口常駐





## 公営住宅を無償にて提供

横浜市営住宅を家具・家電を整備し提供 (賃料は1年間無償、以降も継続を検討中) 2022年4月より入居を開始。以後、市内にて受け入れている 避難民の方々のうち、約50%程度の方々が入居(2023年1月現在)

(写真は提供住宅の一部です)



<外観>



<浴室> (ユニットバスタイプ)



〈ダイニングキッチン〉



<浴室> (バランス釜タイプ)

#### 避難民の方々の居場所づくり

# Українське кафе "ДРУЗІ"

# ウクライナ交流カフェ ドウルーズイ

- ✓ 母国語での交流・情報交換
  - ▶ 安心感を得られる場
- ✓ 文化交流イベント
  - ▶ 避難民主体の活躍の場
- ✓ 市民・企業との連携
  - ▶ 民間支援を避難民につなぐ場

活動・イベント数 40 回以上

参加者数 (延べ) **930** 人以上

※12月1日時点集計

#### ウクライナの伝統文化にふれる



↓モータンカ作成



←ピィーサンカ作成

### 日本の文化・生活にふれる



↑大相撲観戦



## 避難民の方々の居場所づくり



バンドゥーラ演奏会



吉田町Beer Garden



荒篤山関との交流



VAMOS TOGETHER  $\cdot$  Будьмо гей (インクルーシブスポーツ&ダンス&ミュージック)



ウクライナの本棚

## 避難民の方々の居場所づくり(各国・国際機関の要人来訪)



ティムラズ・レジャバ駐日ジョージア特命全権大使



コルスンスキー・セルギー駐日ウクライナ特命全権大使



フィリッポ・グランディ国連難民高等弁務官

#### 日本語の学習機会の提供

# ロ日本語教室の開催

● 初学者向けコース

3 コース (計**11**回) 延べ**84**名が参加

※12月1日時点集計

## ■楽しく学べる

# 日本語ワークショップ

- 第1回 カレンダー作成
- 第2回 七タイベント
- ●第3回 盆踊り
- 第4回 買い物体験
- 第5回 風呂敷
- ●第6回 習字
- 第7回 干支



日本語教室(計11回実施済)



ワークショップ(計7回実施済)

# **ハローワーク横浜**様と連携し 就労に向けてのセミナー等を開催

# 6/14 日本で働くための準備セミナー

- 日本での働き方・仕事の探し方
- 働く上での基本的なルール / 仕事のための日本語講座 等の紹介

# 7/28 就職説明会·個別面談

- 税金や社会保障を知るセミナー
- 企業による就職説明会 / 希望する会社との個別面談

# 11/30 就労に関するよろず相談会

● 外国人雇用管理アドバイザーによる個別相談



# слава Україні

(ウクライナに栄光あれ)